



光 和

11月号
練馬区立光和小学校
令和4年10月31日

光和小
携帯サイト



子供を育む

校長 矢島 直行

校庭の木々の葉も色づき始め、秋の深まりを感じる季節となりました。

天気が心配されましたが、10月15日(土)に運動会を行うことができました。「一生懸命に取り組み、笑顔があふれる運動会にしよう」のスローガンのもと、今年運動会は表現と短距離走で行われました。3年ぶりの短距離走は最後まで頑張って走る姿と友達と協力しながら表現する元気な姿など、子供たちの練習の成果をご覧いただけたのではないのでしょうか。このことは、保護者の皆様からのアンケートからも伝わってきます。感染症対策のために学年ごとに時間を設定し保護者の方2名の観覧となりましたが、受付ではチケット制を導入するなど、昨年度の経験を生かしながらPTA役員、委員の皆様のご協力があり滞りなく行うことができました。また、PTA会長がレース表示を掲げながらの誘導により、保護者が子供たちの走る姿が見やすくなったとの評価もいただきました。支えてくださる方々がいたからこそできたことです。子供たちにとっても大きな励みとなりました。皆様方のご理解とご協力に感謝申し上げます。以前学校だよりも書きましたが、「だれかやる」と「だれがやる」の違いは、「だれかがやってくれるだろう」と「自分がやらなくては」との大きな違いがあります。子供たちのために「だれがやる」の気持ちは、子供たちを健やかに育むことにつながります。

アンケートでは、運動会が開催されたことへの喜びや感謝の気持ちを伝えてくださる方が多数いました。今できることを工夫して取り組んだことについて、教職員にとっても大きな励みとなりました。昨年度の学校評価(アンケート)に、「コロナ禍、いろいろな活動ができないことを探して嘆くのではなく、できる活動を皆でしっかりと取り組み、活動ができたことに感謝と喜びを感じる心や姿勢を培う教育。大人になっても、置かれた場所で頑張れるのではないかと思います」との意見をいただきました。今できることを一生懸命に取り組むことの大切さを子供たちに伝えていくことが、子供たちの日々の教育活動を充実したものにつながるのではないのでしょうか。

その他にも皆様から数多くのご意見をいただきました。改善していくものと難しいものもありますが、816名の子供たちの安全を考えながら子供たちのためによりよい教育活動となるように取り組んでまいります。

また、2年生の「町たんけん」が先日行われました。昨年度に引き続き前PTA会長が、34店舗全てのお店に子供たちが訪問する時間を調整して下さり、充実した「町たんけん」を実施することができました。また、ご多用の中、お店の方々とお手伝いしていただきました保護者の方のご協力もあります。ありがとうございました。

このように、学校だけではなく保護者と地域の方々との連携があり子供たちは健やかに育まれています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。